

## 令和5年度8回運営委員会議事録

- 日時：令和5年10月24日（火）19:00～21:00
- 場所：WEB会議（ZOOM使用）
- 参加：鈴木勝行、宮崎弘子、佐藤英人、大熊勝（欠）、松本明世、真野博、廣川千恵子（欠）、山本悦男、山本実穂（欠）、川島秀男（欠）、沢田典大、浅井敬三、木内勝司（欠）、渡邊勇（欠）
- 議長：鈴木勝行
- 書記：宮崎弘子
- 資料：議題

### 1. 標識アユの遡上調査について

- ・10月21日の学校橋下流の瀬で標識アユ1尾を再び捕獲。（山本・白石）
- ・都幾川「川の広場」の辺りにアユが多数集まっているので、もう1回程度調査を行う。改めて日程を決める。
- ・白石さんが継続して調査を行うとのことなので、新たな情報があるかもしれない。
- ・調査終了後、「調査のまとめ」を作成する。完成は年明けになる予定（鈴木）

### 2. 魚捕り体験事業について

#### 越辺川実施結果

《参加者数》26人(大人15人、子ども11人)

《スタッフ》25人

鈴木、金澤、廣川、佐藤英人、真野、松本、沢田、白石、柏木美之、柏木才助、高篠、佐藤正康、高橋、橋本、浅井、宮崎、はとやま環境フォーラム（3人）  
細村建設（2人）、高橋土建（4人）

《活動についての総括》

- ① 刺網を瀬張り網の前に仕掛けたことで、アユが3尾掛かり子供にとってもらうことができた。他に2尾捕獲し合計5尾ほど捕獲できた。
- ② 気温が高くなかったので熱中症対策を取らずに済んだ。
- ③ スタッフが大勢いて、とくに企業関係の多大な協力があり助かった。
- ④ 投網教室においては、川魚の模型を使用する方式は良かった。

《反省点》

- ① 当地の鍵は2つあり、高水敷きに降りる鍵を確認して借りる必要があった。
- ② 地曳網で最後の投網による捕獲法について意思統一が必要だった。
  - ・子どもの安全について、参加者数が少なかったのが適正であった。（参加人数が子どもの安全に影響する。）安全なイベントを行う適正な人数は24人程度と考えられる。
  - ・子どもの人数により、魚とりのパターンを用意する必要がある。
  - ・今回、瀬張りが終わるまで、子どもは川に入らないようにした。

- ③ 大型の鯉に対する対処方法を決めておく必要があった。次回より大型の網を用意する。
- ④ 二瀬橋の辺りは深くなっているので、開催場所の検討が必要。

### 3、水質調査について

- ・ 700部を制作配布済み。
- ・ 全国水質調査マップ委員会（12/2 14時～18時）への出席について。  
WEB（ZOOM）にて出席：鈴木
- ・ 武州・入間川PJ助成報告書の作成：宮崎

### 4、令和5年度埼玉県川の再生交流会について

日時：2月10日（土）10時～16時

会場：埼玉会館

参加：ポスターセッション（ポスターA2枚） 作成：鈴木

申込み締め切り：10月31日（火）（鈴木）

当日参加予定：鈴木、沢田、真野、松本、宮崎

### 5、シンポジウムについて開催の方向で検討

日時：令和6年3月17日（日）

会場：国立女性教育会館➡次回運営委員会で企画案を話し合ってから予約。

### 6、その他

長楽堰、上奥富堰、中井堰の改修に向けて、文書にて埼玉県農林部に相談を持ちかける。

### 次回

令和5年度第9回運営委員会

日時：11月28日（火）19：00～ WEB会議（ZOOM使用）